



うち だ かす よし  
内 田 和 良  
(無会派)

## ●地域の思いを活かした道路整備のシステムを ●地区センターの民間管理は地域力を活かして

**質問** 年末の完成を目指し急遽

水沢日高小路の舗装工事が実施される。市は着工直前7月に地元説明会を開いたが、地元の意見が分れ、地元も市も大変苦勞をした。今後の市道整備の進め方を見直すべきと考える。愛知県春日井市の先進例は「地域の思いを活かす」ために、地域で整備推進団体を作り、地元と市が充分に協議協力し、計画をまとめる手法。その後の道路への住民意識も高くなり大切にする。真の協働のまちづくりと考える。市の姿勢を伺う。

**市長** 市には都市整備について

いくつかの協働の制度があるが限られた予算と期限の中で地域要望に 대응することが課題。春日井市の例は地域協議優先の整備手法。整備後の維持管理など、大変参考になる。検討したい。

**質問** 市では「地区センター管

理の民間移行を、28年度より5年間で実施」としているが、市民から民間管理となった場合の

利用料金・地域特性への対応力・

管理者による運営能力格差・日常及び非常時使用等の市との連絡などを心配する声がある。民営導入の進め方を伺う。

**市長** 料金・サービス内容は現

行どおりで運営する。管理者に地域振興会等を考えているので地域の個性対応力はさらに高くなる。運営力格差が生まれないよう研修会を実施する。市との連絡については本庁内に常設担当部署を設け、常に地区センターのお世話をかけるが「地域の城」として喜ばれるものにした。



平成10年に「街並み環境整備事業」で市道日高小路線を整備



すず き まさ ひこ  
鈴 木 雅 彦  
(奥和会)

## ●医療・福祉における市民負担の軽減を ●行財政改革に適した組織の構築を

**質問** 事務事業見直しに関わる

公費削減の必要性について伺う。

**市長** 施策を実施する上での貧

困状況の把握は国の調査以上には行っていないが、所得にに応じた必要な支援を実施している。当該助成削減の効果は、全体的な財政運営上の財源として貴重であり、現状維持のための支援から頑張る人を応援する施策への転換が、これからの行政のあり方と考えている。

**質問** 医療・介護総合推進法施

行に伴う対策をどのように考えているのか。

**市長** 制度が大きく変わる第6

期介護保険事業計画の策定に向けて、関係団体と連携し、部内に専門作業班を設けて検討を進めており、年度内には策定をする。

地域包括ケア構築の為にバツクアップ病棟として有床診療所は必要であり、前沢診療所にもその機能を期待している。まずは医師を確保し、その上で体制整備を行って行く。また、来年四月には医療局を設置し、情報管理も含めた一元管理体制を構築して行きたい。

認知症の早期診断・早期対応

に向けた支援体制として導入される認知症初期集中支援チームについては、今年度中に施行事業に取り込む。

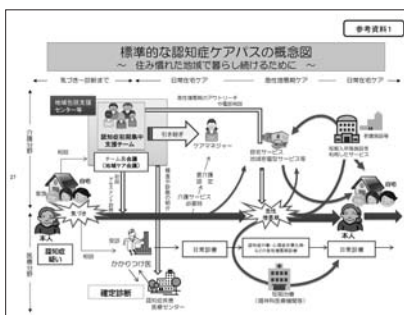
**質問** 行財政改革に適した組織

の見直しと、本庁・総合支所機能の見直しについてはどうか。

**市長** これまでも効率化や行政

需要・利便性等を目的に見直しを実施して来ているが、横の密な連携も含め、今後も様々な切り口で検討して行きたい。

支所機能の見直しに伴い、空きスペースの有効活用を検討も始めている。現在は個別具体的な話は無いが、市民の財産である公有財産の有効活用を、地域の理解を得ながら積極的に進めて行きたい。



認知症ケアにて不可欠な初期集中支援チーム作りを目指して